

「松山市車両基地跡地広域交流拠点施設基本計画(案)」のパブリックコメントの意見と対応について

1. 実施の概要

項目	内容
意見募集予告期間	令和 7 年 5 月 12 日(月)～令和 7 年 5 月 14 日(水)
意見募集期間	令和 7 年 5 月 15 日(木)～令和 7 年 6 月 13 日(金)
資料閲覧・配布場所	・松山市ホームページ ・市役所本館 1 階 市民閲覧コーナー ・市役所本館 7 階 交通拠点整備課
周知方法	・松山市ホームページ ・広報まつやま(令和 7 年 5 月 15 日号)
結果公表期間	令和 7 年 7 月中旬(予定)
結果公表場所	パブリックコメント実施時の資料閲覧・配布場所と同様(予定)

2. 意見の概要

意見数(合計)	
360件【個人:312件(110人)、団体:48件(14団体)】 ※意見数を件数としているため、人数と件数は一致しません。	
分野	件数
上位・関連計画	9
規模	15
機能	70
期待する役割と想定される事業	29
敷地	9
採算性	29
交通対策・住環境	36
周辺開発	8
既存施設との役割分担	16
文化施設の検討	77
その他車両基地跡地に望む用途	19
その他	43

松山市車両基地跡地広域交流拠点施設基本計画(案)に対する意見対応表

分野 (合計件数)	主な意見	対応案		
		ページ	分野	内容
上位・ 関連計画 (9件)	・「松山市スポーツ推進計画」と「第二期松山市文化芸術振興計画」を加えてほしい。	P3	1 上位・関連計画	反映 施設の検討を進める上で関連する計画として追記します。 計画(案)の「第1章 これまでの経緯」のうち「1 上位・関連計画」の「(4)その他の関連計画」表4に「松山市スポーツ推進計画」【基本施策4】地元プロスポーツの活性化」について追記します。 同じく表4に「第二期松山市文化芸術振興計画【基本目標1】文化芸術活動の推進及び支援」について追記します。
規模 (15件)	・5,000 席以上にしてほしい。 ・7,000 席以上にしてほしい。 ・8,000～1 万人規模にしてほしい。 ・1万人規模にしてほしい。 ・5,000～1万人規模は、ステージが近く感じられ、コンサートによい規模だと思う。	P22	3 今後の主な検討事項	規模は、「5, 000席以上」として、今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、本市にとって適切な規模を検討します。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3今後の主な検討事項」の「施設計画」により検討を進めていきます。
機能 (70件)	・バリアフリーや環境に配慮してほしい。 ・外国語表記を取り入れてほしい。 ・拡張性の高いインフラを整備し、最新技術の発信拠点になってほしい。	P15	2 各室の仕様について	安全で利便性の高い施設となるよう配慮していきます。 計画(案)では、「第4章 施設計画」のうち「2 各室の仕様について」の「(1)基本事項」により整備していきます。

機能	・日常的に人が集まる場所になってほしい。	P8	3 新施設の整備方針	プロスポーツなどの大規模イベントだけでなく、共用部や屋外の使い方を工夫するなど、市民が日常的に利用・交流する「いつも楽しいアリーナ」を演出できるよう、今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、最適な機能を検討します。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「施設計画」により検討を進めていきます。
		P12	4 新施設の事業方針	
		P22	3 今後の主な検討事項	
	・施設内のトイレを多くしたり、通路の幅を広くしたり、観客の快適性等に配慮してほしい。	P15	2 各室の仕様について	適切なトイレの設置や動線を確保し、大規模なイベントにも対応でき、誰もが快適に利用できる施設となるよう工夫していきます。 計画(案)では、「第4章 施設計画」のうち「2 各室の仕様について」の「(1) 基本事項」により整備していきます。
	・競合するアリーナと違った機能やコンセプトを取り入れてほしい。 ・施設の窓等から、松山らしい景色が見えると集客効果や郷土愛が期待できる。	P12 P22	4 新施設の事業方針 3 今後の主な検討事項	おもてなしの心を感じられる「松山らしさ」を発信・創出する施設となるよう、今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、望ましい機能やコンセプトを検討していきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「事業化」により検討を進めていきます。

機能	・災害時に強いアリーナにしてほしい。	P11	3 新施設の整備方針	反映 広域交通結節点という立地であり、帰宅困難者の一時避難所として対応できるなど、施設自体の防災力を確保します。 計画(案)では、「第2章 整備方針」のうち「3 新施設の整備方針」の「(3) 各空間に期待する役割と想定される事業」の「【広域交通結節点としての防災機能】」に「なお、新施設自体も、例えば止水版を設置し、浸水対策をするなど災害に対応した施設とします。」を追記します。
	・音響や照明機材の規模を記載してほしい。	P15	2 各室の仕様について	民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、アリーナの規模やニーズに合った最適な機能を検討します。 計画(案)では、「第4章 施設計画」のうち「2 各室の仕様について」の「(2) メインアリーナ」により整備していきます。
	・喫煙所を設置してほしい。	—	—	分煙施設の設置の有無は、今後、駅周辺エリアの設置状況を把握しながら、関係者等と協議していきます。
	・通年利用可能なアイススケートリンクを常設してほしい。 ・全国大会等を実施できるバレーボールコートを計画してほしい。 ・文化を継承できるスペースを検討してほしい。 ・設計者は、有名な建築家にした方がよい。	P22	3 今後の主な検討事項	新施設の整備にあたり、今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、本市にとって適切な機能を検討します。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「運営計画」や「事業化」により検討を進めていきます。

機能	・「子育て支援」も兼ねる、文化やスポーツの活用機能の整備や事業を記載してほしい。	P10	3 新施設の整備方針	新施設は、さまざまなスポーツ、文化、学びに触れる機会を提供し、親子の遊び場や体験などの事業を想定しています。 計画(案)では、「第2章 整備方針」のうち「3 新施設の整備方針」の「(3) 各空間に期待する役割と想定される事業」により検討を進めていきます。
	・災害時の避難所の役割を想定しているのは、現在の公民館などだけでは今後足りなくなるとの想定からか。	P11	3 新施設の整備方針	アリーナは広域交通結節点に立地し、施設としても広いスペースを有することから、災害時には帰宅困難者の一時避難所や避難物資の集積場所のほか、大規模災害時には地域の避難所としての活用を想定しています。 計画(案)では、「第2章 整備方針」のうち「3 新施設の整備方針」の「(3) 各空間に期待する役割と想定される事業」の「【広域交通結節点としての防災機能】」に防災拠点としての想定を記載しています。
	・防災計画上、「物資の集積」と「避難所としての活用」の重複は避けるべきであり、「避難所としての活用」のみを記載するべきではないか。	P11 P22	3 新施設の整備方針 3 今後の主な検討事項	アリーナは広域交通結節点に立地し、災害の規模など状況によりますが、施設としても広いスペースを有することから、想定される防災機能を記載しています。 具体的な機能は、計画(案)の「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「施設計画」で検討を進めていきます。

期待する 役割と 想定される 事業 (29件)	・全国や海外からの来訪者を意識した運営方針にしてほしい。 ・観光案内所等の設置や、松山城・道後温泉三館の割引券配布などをしてほしい。 ・役割に、「子育て支援」「情報文化交流拠点」について追記してほしい。 ・高島屋、道後温泉、松山城、松山駅周辺などを周遊できるように魅力ある拠点にしてほしい。 ・にぎわいづくりや地域の活性化につながる。	P12 P22	4 新施設の 事業方針 3 今後の主 な検討事項	「松山らしさ」を発信・創出し、観光客や来街者がおもてなしの心を感じられるエリアとなるよう事業方針を定めています。 今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、事業を検討していきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「事業化」により検討を進めていきます。
敷地 (9件)	・5,000 席のアリーナを建てるには狭くないか。	P13 P22	1 建設予定 地 3 今後の主 な検討事項	5,000席のアリーナ建設は可能であり、また、アリーナの形状などを工夫することにより、さらに多くの席数確保も実現可能と考えています。 今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、適正席数を決めていきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「施設計画」により検討を進めていきます。
	・JR松山駅付近は、洪水浸水想定区域であり、南海トラフ巨大地震想定震度分布図で震度6強の震度階級であるが、新施設の災害時の運用の有効性は検証できているのか。	P11	3 新施設の 整備方針	反映 広域交通結節点という立地であり、帰宅困難者の一時避難所として対応できるなど、施設自体の防災力を確保します。 計画(案)では、「第2章 整備方針」のうち「3 新施設の整備方針」の「(3) 各空間に期待する役割と想定される事業」の「【広域交通結節点としての防災機能】」に「なお、新施設自体も、浸水対策をするなど災害に対応した施設とします。」を追記します。

敷地	・バスタプロジェクトと車両基地跡地の敷地を合わせて計画してはどうか。 ・車両基地跡地にアリーナができると、アクセス手段が分散され、渋滞もおきにくく、県外から来る人にも魅力的だと思う。	P22	3 今後の主な検討事項	車両基地跡地を含む、駅周辺地区は民間開発を促しながら一体的に整備することで、にぎわいに満ちた魅力あるエリアの実現を目指しています。 今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、事業を検討していきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「その他」により検討を進めていきます。
採算性 (29件)	・赤字になる可能性があるのではないか。 ・近県の施設もあるが、アーティスト等の利用見込みはあるのか。 ・プロモーター等へのニーズ調査はしているのか。 ・広島のアリーナは空いていない場合が多いため、中四国の会場として選ばれる可能性も高いと思う。 ・バスケットボールも盛り上がりを見せているので、集客できると思う。	P22	3 今後の主な検討事項	採算性は、施設を維持していく中で重要な観点であり、ニーズを精査して需要を把握し、運営の持続性を高める必要があります。 今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、事業を検討していきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「運営計画」や「事業化」により検討を進めていきます。
交通対策・ 住環境 (36件)	・渋滞対策が必要である。 ・アリーナ敷地内に、駐車場やタクシー乗り場等を整備してほしい。 ・自転車専用道路を作してほしい ・コミセン(企画展示ホール付近)に、大規模駐車場を整備してはどうか。 ・JR松山駅と松山空港をつなぐ路線を導入し、観光客の利便性を図ってほしい。 ・アリーナ利用客が使いやすくなるよう、路面電車延伸も本格的に協議し、駅西口に電停を設けてほしい。 ・アリーナ前や松山駅西側にバス停を設置し、空港アクセスを良好にしてほしい。	P22	3 今後の主な検討事項	広域交通結節点としての立地をいかし、JRや路面電車などの公共交通機関の利用を促すとともに、中央公園などの市有施設も活用したパーク＆ライドなどを検討していきたいと考えています。 今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、交通対策を検討していきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「交通対策」により検討を進めていきます。

交通対策・ 住環境	・アリーナと駅や民家の距離が近いが、5,000人が一気に移動する場合をシミュレーションしているのか。 ・JR松山駅からアリーナまでの移動がしやすくなるように、動線に屋根をつけたり、歩道に矢印をつけたりしてほしい。	P22	3 今後の主な検討事項	アリーナでは大規模イベント時に、多くの来場者が移動するため、安全でスムーズな動線を確保する工夫が必要であると考えます。 今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、動線について検討していきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「施設計画」により検討を進めていきます。
	・騒音やごみ問題などで住環境悪化を招かないようにしてほしい。	P22	3 今後の主な検討事項	反映 アリーナでのイベント時に、近隣に騒音やごみのポイ捨てなどがないよう対応していきたいと考えています。 今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、住環境への配慮について検討していきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「施設計画」の「環境面への配慮」に「住環境への配慮」を追記します。
周辺開発 (8件)	・宿泊施設や商業施設等を整備した方がよい。 ・リハーサルスタジオやバーチャルプロダクション用LEDステージなどを設置し、制作会社が拠点を構えやすい環境を整えてほしい。 ・基本構想の基本方針や、新施設の基本方針を実現するために、アリーナそのものだけに依存しない施設の高度複合化や、周辺の再開発と一体化した計画をしてほしい。 ・「JR 松山駅周辺まちづくりの将来像」の赤色地区に音楽ホール、青色区画に1万席規模の多目的アリーナやホテルを建設してはどうか。	P22	3 今後の主な検討事項	アリーナの整備を含む、駅周辺地区は民間開発を促しながら一体的に整備することで、にぎわいに満ちた魅力あるエリアの実現を目指しています。 今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、事業を検討していきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「その他」により検討を進めていきます。

既存施設 との 役割分担 (16件)	・県武道館、県民文化会館、市民会館、総合コミュニティセンターで十分ではないか。 ・アリーナと、市民会館や県民文化会館は用途が異なるため、代用は難しい。 ・新たに大規模施設を建設するのではなく、既存施設のリニューアルや複合化を優先すべきではないか。	P22	3 今後の主な検討事項	反映 今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、既存施設との役割分担について検討していきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「施設計画」に「既存施設との役割分担」として「機能や規模等で既存施設と棲み分け」を追記します。
文化施設の 検討 (77件)	・基本構想のホールから、アリーナに変わった理由や経緯を知りたい。 ・老朽化している市民会館について、検討会の立ち上げ時期や整備候補地等、早く具体案を示してほしい。 ・基本構想策定時のワークショップやパブリックコメントの意見なども、今後の検討に引き継いでほしい。	P5 ～P7 P8	1 基本構想策定以降の状況 2 整備方針について	基本構想策定後、検討会などで意見をいただき、計画(案)の「第2章 整備方針」に記載する施設を目指すこととなりました。 なお、基本構想で掲げている5つの機能は、同章「3 新施設の整備方針」の「(3)各空間に期待する役割と想定される事業」により引き継いでいきます。 また、新たに検討会を立ち上げ、松山市民会館の閉館時期や代替施設について協議を進める予定です。基本構想の策定時も含め、これまでワークショップやパブリックコメントでいただいた意見は、今後の検討に引き継ぎます。 計画(案)では、「第2章 整備方針」のうち「2 整備方針について」の「(2)市民会館代替機能の検討」で記載しています。
	・市民ワークショップのニュースレター等を基本計画に添付してほしい。	P6	1 基本構想策定以降の状況	ワークショップでいただいた文化ホールに関する意見は、市民会館の閉館時期や代替施設について協議する新たな検討会にしっかりと引き継いでいきます。 また、計画(案)でも「第2章 整備方針」「1 基本構想策定以降の状況」「(2)市民ワークショップでの意見」で『主な意見』を記載しているほか、ニュースレター等は、松山市ホームページに掲載しています。

その他車両 基地跡地に 望む用途 (19件)	・東京タワーのようなタワーを作ってほしい。 ・松山駅直結のホテルを建築してはどうか。 ・避難所のようなものを建てるべきではないか。 ・広い宴会場を区切って分割利用もできるような施設、宿泊施設、スケート、プール兼用施設、水族館、それらの複合施設、一部にショッピングモールを入れてはどうか。 ・マークイズ福岡ももちのようなレストランを含むショッピングモールと、その施設内に zepp を誘致してほしい。 ・下層階は無印良品、カフェ、図書館、上層階はホテルで構成された施設がよい。 ・広大な飲食スペースを作り、中央にイベント用スペースを設けてはどうか。 ・アリーナよりホールの方がよい。 ・複数の選択肢を比較検討したい。 ・宿泊施設と一万人規模のイベントホールを備えたコンベンション施設がほしい。 ・市民文化活動や地域の小規模イベントの場合には、柔軟で小回りの利く公共スペースの方がよい。 ・音響的にはサントリーホール、東京オペラシティコンサートホールにも負けないコンサートホールがよい。 ・松山市民会館の代替施設がよい。 ・文化施設や公園、芸術に触れる空間をつくり、こどもや高齢者が集まりやすくしてはどうか。	P8 P22	2 整備方針について 3 今後の主な検討事項	車両基地跡地では、にぎわい創出と防災の観点から、アリーナを中心とした施設の整備を目指したいと考えています。また、アリーナを含む、駅周辺地区は、民間開発を促しながら一体的に整備することで、にぎわいに満ちた魅力あるエリアの実現を目指しています。 今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、事業を検討していきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「その他」により検討を進めていきます。
---	---	----------------------	--------------------------------------	---

その他 (43件)	・駅周辺の開発構想を示してほしい。	P22	3 今後の主な検討事項	アリーナの整備を含む、駅周辺地区は民間開発を促しながら一体的に整備することで、にぎわいに満ちた魅力あるエリアの実現を目指しています。 今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、事業を検討していきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「その他」により検討を進めていきます。
	・「スタジアム・アリーナ改革ガイドブック<第2版>」を最大限に活用すべき。	—	—	「スタジアム・アリーナ改革ガイドブック<第2版>」も活用しながら進めていきたいと考えています。
	・サウンディング型市場調査などでは、幅広く意見を聞いてほしい。 ・施設のビジョンと設計・運営方針を明確に示してほしい。 ・さまざまな事業手法を検討してほしい。	P22	3 今後の主な検討事項	今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、事業を検討していきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「運営計画」や「事業化」により検討を進めていきます。
	・災害時対応等では医療分野の知見が不可欠であり、またメディアとの連携で、施設の認知度向上・情報発信・配信インフラ整備なども計画的に行うことができる。 ・地元経済界・関連団体との連携について具体的に示されていない。	P22	3 今後の主な検討事項	地元経済界や関連団体との連携は重要と考えており、計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「地域連携」により検討を進めていきます。
	・建設する資金等はあるのか。	P22	3 今後の主な検討事項	新施設の整備にあたっては、民間活力の導入を図ることで、整備運営費用の縮減に取り組むこととしており、今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、事業を検討します。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「事業化」により検討を進めていきます。

その他	・席数やニーズ調査、事業費の精査等は、現段階で十分に調査、検討する内容ではないか。	P22	3 今後の主な検討事項	新施設の整備にあたっては、今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、本市にとって適切な機能や規模を検討します。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「施設計画」や「運営計画」、「事業化」により検討を進めていきます。
	・着工までの間、更地になっている部分の一部を、簡易な平面駐車場などとして活用してほしい。	—	—	駅利用者の利便性を損なわないよう、本敷地だけでなく、周辺エリアも含め、土地の活用方法を検討したいと考えています。
	・小劇場が無くなると、市民劇団や観客が松山から離れるため、「舞台芸術の拠点」の創設を明記してほしい。	P8	2 整備方針について	文化施設のあり方については、さまざまな要望を踏まえ、より丁寧に議論する必要があるため、新たに立ち上げる検討会で協議していきたいと考えています。 計画(案)では、「第2章 整備方針」のうち「2 整備方針について」の「(2)市民会館代替機能の検討」で記載しています。
	・アリーナを松山中央公園内に建設してはどうか。	—	—	にぎわい創出と防災の観点から、アリーナは、JR松山駅周辺の車両基地跡地で整備を検討したいと考えています。
	・基本計画策定業務委託仕様書「5 業務の内容(1)基本計画策定」のうち、「③管理・運営計画の検討」「④概算事業費の算定」「⑤イメージパースの作成(3 枚程度)」について、明確な記述をするべき。	—	—	委託業務は仕様書に基づき、適切に進めており、基本計画に記載していない事項は、今後、民間事業者からのさまざまな提案をいただきながら、検討していきます。 計画(案)では、「第5章 事業化へ向けて」のうち「3 今後の主な検討事項」の「運営計画」や「事業化」により検討を進めていきます。
	・今回のパブリックコメント以降も、できるだけ多くの市民が参画可能な仕組みを作してほしい。	—	—	今後も、できるだけ多くの市民の皆さんの意見を伺える機会を設けながら、検討を進めていきたいと考えています。

その他	・この数年間での、有料観戦スポーツ競技の数、有料無料問わずプロスポーツ観覧行事の数、それぞれの動員数を知りたい。 ・「B リーグの試合を開催している他県の複数のアリーナでは問題なくクラシックのコンサートが開催できていると聞いている」の、具体的な実績(施設名、コンサート開催日、演奏者や曲目等の公演内容)を知りたい。	—	—	質問のため、計画(案)へは反映しません。
	・意見提出書は、チェックボックス等を使用せずに、簡素な様式にしてほしい。 ・サッカー専用スタジアムを市内中心部に建設することを検討してほしい。 ・国道56号の踏切2か所を高架化して渋滞緩和してほしい。 ・外国人のために、外国語表記の市内の案内パンフレットを作ってほしい。	—	—	車両基地跡地の施設整備以外の内容のため、計画(案)への反映はしませんが、市政への意見として関係各課へ引き継ぎます。